

教科目名 都市計画 (City Planning)

学科名・学年 : 都市システム工学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2 単位 (前期 2 コマ, 授業時間 45.75 時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
<p>近年、都市計画は「まちづくりとは、住むための良い環境をつくるもの」という環境重視の観点が強く要請されている。そこで、本講義では、前半には従来と同じく、都市論や土地利用計画等の都市計画法を中心に解説するが、後半は、近年導入が進んでいる環境重視の「地区計画」や「建築協定」を詳述したい。また、都市計画法と並んで重要な建築基準法の考え方を述べる。都市施設では、公園緑地等を取り上げ、その仕組みや整備方法について解説する。</p> <p>都市計画は社会経済や日常生活と密接な関係を有していることから、レポート作成により都市計画的な見方、考え方を身につけることを重視している。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標(d1⑤) (g)	
(1) 都市問題や都市計画に関する基礎理論が理解できる。(定期試験) (2) 都市計画的な見方、考え方を養うとともに、日常生活との関わりについて理解できる。(レポート) (3) 自主的、継続的に学習できる能力を養成する。(レポート)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 都市計画論 (1) 都市の意義と分類	○都市の意義と分類について学ぶ。 ○古代～近世～現代の都市に至る都市の歴史について理解する。	【理解の度合い】
2	(2) 都市の歴史	○都市計画の歴史について理解する	
3	(3) 都市計画の歴史	○代表的な都市構造論について学ぶ。	
4	(4) 都市構造論	○市街化区域と市街化調整区域について理解する。	
5	2. 土地利用計画	○「用途地域」の役割を理解する。	
6	(1) 都市計画区域・地域地区		
7	(2) 用途地域		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説 (3) その他の地域地区	○わからなかった部分を理解し、補助的の地域地区について学ぶ。	【理解の度合い】
10	(4) 地区計画	○地区計画について学ぶ。	
11	(5) 建築協定	○地区計画・建築協定の現地視察	
12	3. 建築基準法	○建築協定を理解する。	
13	(1) 建ぺい率	○建ぺい率を理解する。	
14	(2) 容積率	○容積率を理解する。	
15	4. 市街地整備事業 (1) 土地区画整理事業	○土地区画整理事業のしくみを理解する	
16	5. 都市施設 (1) 公園緑地	○都市施設の概要を学ぶ。 ○公園緑地の種類や機能について学ぶ。	
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	夏休みを利用して興味のある都市問題について新聞記事の切り抜きを課すので、日頃から新聞を読む習慣を付けること。		【総合達成度】
教科書	平田・亀野・宮原・武井・内田, 環境・都市システム系教科書シリーズ 16, 『都市計画』, コロナ社		
参考図書	石井・湯沢・亀野他共著, 『最新 都市計画第 3 版』, 森北出版		
自学上の注意	毎回、都市計画に関する演習問題を課すので、学生は自ら教科書や参考書, インターネット等を用いて調べて提出すること。		
関連科目	公園緑地計画, 環境計画, 都市景観学 (専攻科), 地域計画学 (専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)～(3)について定期試験とレポートで評価する。 総合評価=0.7×(2回の定期試験の平均)+0.3×(レポート) 総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は、総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する。なお、再試験の受験資格は、レポートを提出した者で、かつ 2 回の定期試験の平均点が 40 点以上の者に与える。		